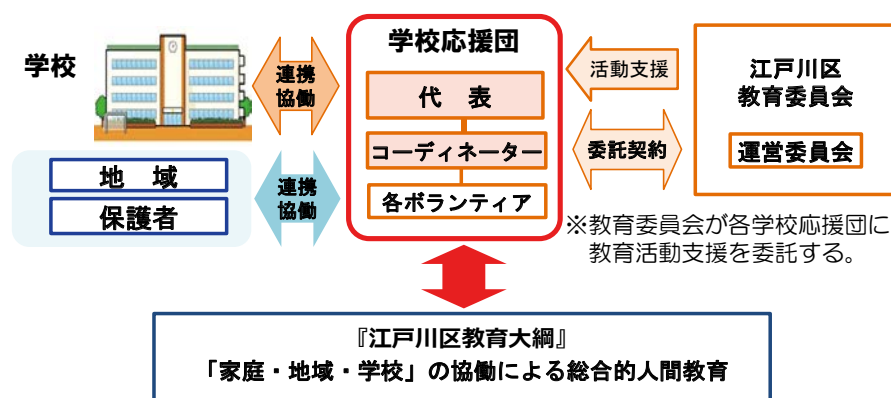


## ◆事業方針（計画等における位置付け）

『江戸川区教育大綱（平成28年3月）』の基本目標として、『「家庭・地域・学校」の協働による総合的人間教育』を掲げており、地域のボランティアによる学校応援団活動は、基本目標達成に向けた中心的な役割として位置付けられている。

## ◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等を含む）

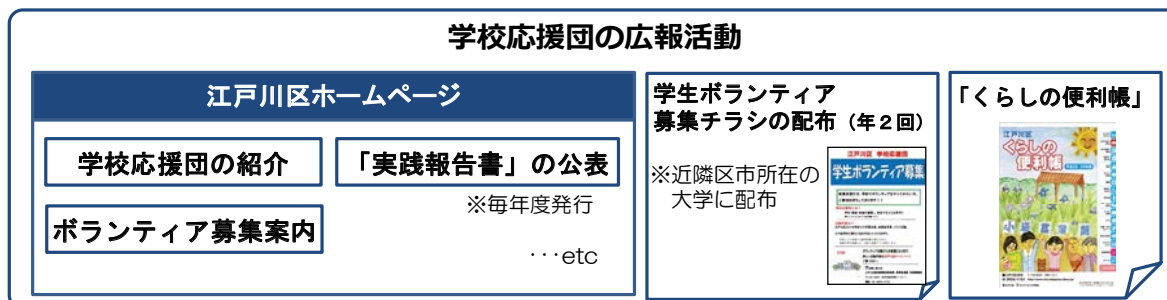
各学校応援団の代表とコーディネーターが中心的な役割を担い、学校との協働活動を推進している。教育委員会は、広報やボランティア募集等の側面支援を実施。



## ◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

区公式ホームページを中心に活動紹介・ボランティア募集等の広報を実施。

また、近隣自治体所在大学への学生ボランティア募集チラシの配布、「くらしの便利帳」（区刊行物）への事業紹介・ボランティア募集記事掲載なども併せて実施している。



## ◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

代表・コーディネーターの育成や交流を目的とした「コーディネーター研修」の実施、「実践報告書」の作成・配布を通じた事例共有等により、コーディネーターの意欲を醸成するとともに、学校応援団・学校に対して活動の参考となるような情報を適宜提供している。

## ◆成果

区全体で約9,000名のボランティアの方に御参加いただき、各校で多様な活動を展開している。

また、今年度は夜間中学に学生ボランティアが参加し、授業補助等の教員サポートを行った。

## ◆課題・展望

各校応援団の人員変動により、活動に支障が出るケースが多く見受けられるため、研修会等を通じて、学校応援団活動を継続して実施できる組織作りを進める必要がある。